

# 涙のアリバイ

——手先表情映画——

夢野久作

青空文庫



すべて無字幕、説明なしで、手だけを中心とし、その他の物体は、手の背景としてうつす。但、生きた人間の顔は絶対に取り入れぬこと。

### 俳優登場

◇悪人の手……四十恰好の色の白い、指の長い、節の高い、青す  
 じの走った毛ムクジャラ……。

……右の手の甲に大きな疵痕……。

……左の薬指に「槻田つきだ」と彫った巨大な認印おおきつきの指環みとめ一個ゆびわ

……。

……時々思い出したように、ねばっこい、ヒネクレたわななきを見せる……。

◇美人の手……綺麗な、スナリとした、上品な中年増……。

ちゆうどしま

……左の薬指に華奢きやしやなダイヤ入りと、エンゲージリングを  
一ツずつ……。

……優しい心のふるえを時々あらわす……。

●女中の手……真黒く、丸々と脂あぶらぎ切った……。

……ダラリとした無神経……。

●探偵の手……三十前後の、黒くて、強そうな……。

……頭のよさをあらわすテキパキとした動き……。

## 第一の場面

……贅沢な事務用机の中央の、椅子に接した三尺四方ばかり  
……。

……凝こった文具いろいろ……。

……高雅な卓上電燈、写真立て、豆人形、一輪挿し、灰落し  
などをキッチンと並べてある……。

……一隅の置時計は九時十五分を示している……。

……薄暗い窓あかりがさしている……。

……時々自動車のヘッドライトが窓硝子ガラスに近づいては消えて

行く……。

◇悪人の手登場……卓上電燈のスイッチを捻<sup>ひね</sup>り、あたりをパツと  
明るくする。

………手袋を脱いで机の上に放り出し、続いてシガ  
ーケース、財布、名刺入れ、ハンカチその他を投げ出し、  
両手を揉み合わせて疲れた表情……。

●女中の手登場……珈<sup>コーヒー</sup>琲と、帝劇マチネーの案内状を机の上に  
置いて退場……。

◇悪人の手………立ちながら珈琲を取り上げつつ案内状を見る。  
………ペンを取り上げて同封の葉書の「出席」と印  
刷した下へ「槻田万策<sup>まんさく</sup>」と署名をして傍に置く。

……やがて椅子に腰を卸し、両手を机の平面にピ  
 タリと静止させ、あたりの様子を窺うこなし……。

……電燈を消し、机の横から、大きなインキ瓶を  
 取り出し、夕あかりに透かしつつ机の上のインキ瓶のイン  
 キを半分ばかり、大きな瓶へ注ぎ返しもとの位置に直す。

……今一度あたりの様子をうかがいつつ、左右の  
 カフスの間、その他、衣服の各所から、宝石を掴み出して、  
 一ツ一ツインキ瓶の中に沈めおわる。

……悦よろこばしげに両手を揉み合わせつつ電燈をつけ  
 る。

●女中の手登場……『丸の内私立探偵局 連水晃』と刷った名

刺を主人の手に渡す。

◇悪人の手……………その名刺を裏返したりヒネクツタリして困惑した表情の後のち「こちらへお通し申せ」という手つきをする。

●女中の手……………うやうや恭しく握り合つたまま退場……………。

◇悪人の手……………女中が遠ざかるにつれてブルブルとふるえつつ、立ち上るこなし……………名刺を握り潰そうとして、又ハツと吾にかえる。

……………間もなく慌てて机に帰り、ペンを取り上げ、レターペーパーを拡げて手紙を書き初める。

「拝啓 本日は光荣ある晩餐会に御招待を受け、格別の御厚遇に預り、殊に、朝野の名士数氏に御紹介を賜わり候事、



「面目これに過ぎ……」

……ここまで書くうちに次第次第に手がふるえ出し、文字が固苦しく乱れ始めて、とうとう中止する。

●探偵の手登場……ツカツカと机に近づき、立ったまま握手を求め

◇悪人の手……ペンを棄て、さも愉快そうに立ち上つてこれに応じ、椅子を指して「サアドウゾ」というこなし……。

●探偵の手……椅子に腰かけ、ハンカチで汗を拭う。

●女中の手登場……探偵の前に珈琲を置いて退場……。

◇悪人の手……悠々と椅子に腰を下し、机の上のシガーケースを取り上げ、蓋を開いて探偵にすすめる。

●探偵の手……………軽く左右に振って断る。

◇悪人の手……………かすかにふるえつつ、自分でマッチを擦り、葉巻に吸いつける。

●探偵の手……………机の上に書きかけになっている晩餐会の礼状を指し「そこで盗んだものを下さい」という風に両手を軽く重ねてさし出す。

◇悪人の手……………強く否定して、身の潔白を表明する。

●探偵の手……………礼状の文字のふるえを指し、鋭く詰問する。

◇悪人の手……………非常に激昂し、固く握り締めて机をドンドンとたたき「出て行け」と命ずる如く入口の扉ドアを指す。

●探偵の手……………皮肉に屈指まげたり伸ばしたりして悪人を指し、

嘲弄しつつ立ち上る。

◇悪人の手……………ソロソロとポケットのピストルを探り、半分程引き出す。

●探偵の手……………往来に面した窓を指し、腕時計の時間「九時半」を指し示しつつ退場……………。

◇悪人の手……………ピストルを握り締めたまま見送る。

……………やがてピストルをポケットに押し込み、急いで手袋をはめレターペーパーの書きかけを下の二三枚と一緒にに破って、これもポケットに捻じこみ、机の上に投げ出した身のまわりのものを取り上げ、電燈を消して、探偵のあとを逐<sup>お</sup>うて行く……………。

## — [間] —

◇美人の手登場……しずかに電燈をつける。

……指環をはめ直し、指先に残っている化粧のあとをハンカチで拭い消しなぞしながら、何気なく机の案内状と葉書とを取り上げてみる。

……さも嬉しそうに両手を打ち合わせる。

……インキをつけたまま投げ出してあるペンを、ソツと取り上げて「出席槻田万策」と書いてある横に、優しい筆跡で「同 シズ子」と並べて書き「欠席」の文字を消そうとして、インキの切れたのに気付き、つけ足そうとする。

……と……インキ壺の中に何か落ち込んでいるのに気がついて、ペン先で二三度突つき、その中の一個をかき上げると、ハツとしてペン軸を取り落す。

……ワナワナとふるえる指でレターペーパーを二三枚破って、吸取紙の下に重ねて、机のまん中に置き、抽出からピンセットを取り出して、インキの中にさし入れ、宝石を一つ一つ拾い上げてインキを切り、スツカリ紙に包み、その上からハンカチでくるんで懐に入れる。

……別の新しいハンカチを取り出して泣く風情……

…。

……そのまま静に、電燈を消して退場……。

— [間] —

●探偵の手登場……左右とも手袋をはめたまま、ソロソロと机に探り近づく。

………懐中電燈を照し、そこいらを調べまわる。…

………紙屑籠………唾壺つばつぼ………小型の瓦斯ガスストーブなど…

…。

………大きなインキ瓶の口が濡れているのに気付き、取り上げて二三回振ってみてから又下に置く。

………机のまわりを押しこころみて、秘密の落し戸の有無をたしかめる。

………次に、机の抽出しを下から上へ順々に検査し

て、机の表面まで懐中電燈を持って来る。

……まず、案内状の回答用葉書に新しく「同シズ子」と書いたのを照し「欠席」の文字の上のカスレタペンの痕を<sup>あとあらた</sup>検め、次いでインキに濡れたピンセットを照し出す。

……すぐにインキが半分以上減っている壺に電燈をさしつける。

……右手を握りしめて「占めた」というこなし……。

……懐中電燈を消して退場……。

第二の場面

………暗い部屋に置いたピアノのキーのところ、三尺四尺ばかり……。

………楽譜は置いてない……。

………一方の窓から薄あかり……。

◇美人の手………何か快活らしい曲を弾いている。

………時々手を止めてハンカチで涙を拭うようす……。

……。

——そのうしろから突然にパツと光線がさす——

◇美人の手………ハツとしてハンカチを取り落す。



●探偵の手……………懐中電燈をさしつけつつ近寄る。

◇美人の手……………わなわなと慄え出す。

●探偵の手……………ピンセットで物を抓つまみ上げる真似をして見せる。

◇美人の手……………宝石の包みを差し出しつつ、わななき悲しむ。

●探偵の手……………包みを受け取って中味を検め、固く結び直して無造作にポケットに入れる。

……………くら暗の中に、拇おやゆび指を出して見せ、食指とくつつけ合わせて「お前と共謀だろう」と詰問する体てい。

◇美人の手……………烈しくわななきつつ左右に振って否定し「ピアノを弾いていた。何も知らない」と主張する。

●探偵の手……………懐中電燈をつけ、ピアノのキーの上に落ち散った涙を一ツ一ツに照し出すうち、指先が感動して微かにふるえ出す。

……………ともったままの懐中電燈をしずかにピアノのキーの上に置き、わななく女の白い手をハンカチごと両手で強く握り締め「御安心なさい」という風に軽くたたいて慰撫する。

——その上から涙がポトポトと滴<sup>した</sup>たりかかる——





# 青空文庫情報

底本：「夢野久作全集3」ちくま文庫、筑摩書房

1992（平成4）年8月24日第1刷発行

底本の親本：「日本探偵小説全集 第十一篇 夢野久作集」改造社

1929（昭和4）年12月3日発行

初出：「猟奇」

1928（昭和3）年11月号

入力：柴田卓治

校正：土屋隆

2005年9月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 涙のアリバイ

——手先表情映画——

2020年 7月12日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫  
著者 夢野久作  
URL <http://www.aozora.gr.jp/>  
E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)  
作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU  
URL <http://aozora.xisang.top/>  
BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

### Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>